

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年6月2日（火）No.7
文責：情野 夏美

山形大学附属小学校 授業研究会に参加してきました！

昨日、マイスターの研修で山形大学附属小学校の授業研究会に参加してきました。私たちが目指す研究や授業の在り方とは違っていました。学んできたことを共有させていただきます。当日の資料や指導案は回覧しますのでご一読ください。

1、3年生算数「わり算」

【授業の概要】

- ①めあてを「どのようにわけられるかな？」とだけ伝え、問題を「玉こんにゃくが21こあります。」と伝える。
- ②児童たちは、おはじき21こが書かれたワークシートに、実際におはじきを置いて考え始める。
- ③一人学び5分程度
- ④先生に指名された何人かが前で説明する。先生は疑問を問う。児童は答える。

【マイスターの先生方と話題になったこと&情野が感じたこと】

- ・既習の等分除と未習の包含除の橋渡しとなるような授業だった。
- ・等分除はニコニコわり算（1つずつ配るので、みんなに必ず配られ、安心感があるから）、包含除はドキドキわり算（〇こずつなので、最後の人に配られるか不安だから）
- ・玉こんにゃくがよかった。お皿にも分けることができるし、串にもさせるよさ。
- ・板書が分かりやすい。児童が発した言葉を書き、見やすい。
- ・ICTを使えば、交流の幅が広がると感じた。

2、5年生算数「合同な図形」

【授業の概要】

- ①めあて「正方形を同じ形・同じ面積で2つに分けよう」と伝える。
- ②一人学び5分程度
- ③先生に指名された何人かが前で説明する。先生は疑問を問う。児童は答える。

【マイスターの先生方と話題になったこと&情野が感じたこと】

- ・既習事項と未習事項を大切にしている。
- ・児童の失敗や間違いを授業に生かす。
- ・たくさんの考えが出るからこそ、ICTを使って、他者参照させるとよいのではないか。
- ・全体共有のさせ方の工夫が必要だと感じた。児童対先生だとどうしても話せる子、分かる子しか参加しない。低位の子はついていけない、話を聞いていない。

★研修をしている間に、今、回覧している加固先生の本の内容をはっと思い出しました。教材研究についてです。横と縦の教材研究をするといいと書いてありました。横＝様々な教科書会社の教科書を見比べる。
縦＝学年を超えた（系統性を踏まえた）内容を確認する。

★また、加固先生の本より、全体共有の際、教師は聞いている児童を見取ることも大切であると書いてありました。理由については、本をお読みください！